

平成30年度本巢市教育委員会
事務事業の点検・評価結果報告書



令和元年8月
本巢市教育委員会

点検評価結果の概要

I. はじめに

1. 教育委員会事務事業の点検・評価制度の実施について

平成19年6月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の活動状況・会議の実施状況や所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行う際には、学識経験者の知見の活用を図ることも規定されています。

本巣市教育委員会では、平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間として平成27年2月に「本巣市教育基本計画 後期計画」を策定いたしました。

平成30年度の教育委員会事務事業の点検・評価は、この「本巣市教育基本計画 後期計画」に定める項目ごとに点検・評価することとし、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、ここにその結果を報告いたします。

Ⅱ. 点検・評価の実施方法について

1. 評価の対象

教育委員会が平成30年度に実施した、会議・調査活動及び事務事業について点検・評価を実施する。

- ・ 教育委員会の活動状況、教育委員会会議の実施状況等
- ・ 本巢市教育基本計画の重点ごとの主要施策の執行状況、事務事業の執行状況

2. 評価の進め方

(1) 一次評価

教育委員会事務局において評価対象事業等の自己評価を実施する。

(2) 二次評価

一次評価を基に、評価委員（教育に関し学識経験を有する者等）により二次評価を実施する。

(3) 最終評価

教育委員会は、一次評価・二次評価の結果を踏まえ、最終評価を実施し報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表を行う。

3. 点検・評価の基準

点検・評価は、対象事業の必要性、効率性、有効性、達成度の視点から評価を行う。また、下記の評定基準により総合的に評価を行う。

<総合評価>

次の4区分により達成度の評価を行いました。

評 定	内 容
A	順調に達成しているもの
B	おおむね順調に達成しているもの
C	達成見込みであるが課題があるもの
D	順調でないもの

Ⅲ. 評価結果の概要

1. 教育委員会の活動状況

平成30年度の教育委員会の活動状況の点検評価は、下記のようになりました。

(1) 教育委員会の会議の活動状況

- ①教育委員会の開催
- ②総合教育会議の開催
- ③点検・評価委員会の開催

評価

A

A

A

(2) 調査活動の状況

- ①学校訪問
- ②先進地視察
- ③市町村教育委員会連合会研究総会

A

A

A

2. 事務事業の執行状況

平成30年度の重点施策別の点検評価は、下記のようになりました。

目標1 知徳体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上 (11 項目中の評価、A : 8 項目、B : 3 項目)
施策② 心と体のすこやかな発達 (9 項目中の評価、A : 9 項目、B : 0 項目)
施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策⑤ 教職員の研修の充実 (11 項目中の評価、A : 10 項目、B : 1 項目)

評価

B

目標2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進 (3 項目中の評価、A : 3 項目、B : 0 項目)
--

評価

A

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策② 地域ぐるみによる子ども支援 (4 項目中の評価、A : 4 項目、B : 0 項目)

A

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

B

施策① 子どもの安全・安心の確保

(11 項目中の評価、A : 10 項目、B : 1 項目)

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

評価

重点(1) 未来を築く人づくり

B

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

(19 項目中の評価、A : 17 項目、B : 2 項目)

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

B

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

(18 項目中の評価、A : 17 項目、B : 1 項目)

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

(30 項目中の評価、A : 30 項目、B : 0 項目)

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

A

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

(12 項目中の評価、A : 12 項目、B : 0 項目)

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

評価

重点(1) 子どもの居場所づくり

B

施策① 安心して学べる学校の創造

(8 項目中の評価、A : 8 項目、B : 0 項目)

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

(6 項目中の評価、A : 5 項目、B : 1 項目)

施策③ 特別支援教育体制の充実

(4 項目中の評価、A : 4 項目、B : 0 項目)

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

A

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

(8 項目中の評価、A : 8 項目、B : 0 項目)

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

(7 項目中の評価、A : 7 項目、B : 0 項目)

IV. 点検評価結果の内容について

(1) 教育委員会の活動状況

評価

①教育委員会会議の開催

A

教育委員会会議の開催状況については、会議を13回、議案37件の審議を厳正に行いました。また、委員会終了後には、委員からの情報提供や、事務局からの事務事業の進捗状況その他の報告に関し、委員と事務局との意見交換を活発に行いました。

②総合教育会議の開催

A

地方教育行政法の改正により、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り教育課題を共有するため、平成27年度から設置が義務化となり、開催しています。

会議では、「船来山古墳群保存活用基本構想」、「市民文化ホールの活性化」、「ウオークのまちづくり」などについて、市長等と意見交換を行いました。

③点検評価委員会

A

平成29年度に実施した教育委員会事業についての点検・評価結果を協議し、報告書をまとめました。

(2) 調査活動の状況

評価

① 学校訪問

A

調査活動の状況等については、本巣幼稚園、神海幼稚園、糸貫東幼稚園、真正幼稚園、本巣小学校、真桑小学校、席田小学校、根尾小学校、本巣中学校、根尾中学校を視察し、学校教育（園）の現状を把握した他、学校現場から直接意見を聴くことで、教育現場の現状をそれぞれの角度から把握することができました。

② 先進地視察

A

関ヶ原町歴史民俗資料館や関ヶ原古戦場を訪れ、歴史や観光普及の説明を聴き、文化財保護について学ぶことができました。

③ 市町村教育委員会連合会研究総会

A

北方町や白川村の教育委員会の先進的な取り組みに学ぶことができました。

(3) 各重点における事務事業の執行状況

目標1 知・徳・体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上

- ・自分の教科指導を観る一つの「窓」を活用
- ・個に応じた学習指導の実施
- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）、園関係者評価委員会
- ・小学校情報機器整備事業
- ・学校間ネットワーク整備事業
- ・小学校指導用教材整備事業
- ・中学校指導用教材整備事業
- ・各学校ホームページの活用
- ・ライブ中継システムの効果的な活用
- ・校務支援システム導入事業
- ・各園・小中学校の英語リーダーが集う「本巣市英語教育推進委員会」の充実等

評価

A
A
B
A
A
A
A
B
B
A
A

施策② 心と体のすこやかな発達

- ・道徳教育の推進
- ・道徳研修の充実・教師の授業力向上
- ・道徳教育の支援
- ・図書室の蔵書等の充実
- ・学校図書電算化システムの整備
- ・〔地産地消〕給食に本巣市産・岐阜圏域産・岐阜県産の食材を取り入れる
- ・体力・運動能力テストの実施
- ・部活動支援事業の実施
- ・生きる力を育むプロジェクト（園児体力向上支援事業）

評価

A
A
A
A
A
A
A
A
A

施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援

- ・児童会・生徒会活動サミットの実施
- ・E S Dの視点に立った教育の推進 環境保全活動事業の実施

評価

A
A

施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進

- ・特別支援教育、園・学校における個に応じた指導の充実
- ・定期的な教育相談、保護者のニーズに応じた相談

評価

A
A

施策⑤ 教職員の研修の充実

- ・4～7月：事務管理訪問（園小中学校1回実施）
- ・9～12月：教育指導訪問（小中学校1回実施）
- ・国や県からの情報や児童生徒の学力向上、教職員の資質の向上に向けた改善事項を周知

評価

B
A
A

- ・英語教育パワーアップ事業
- ・市外他校の研究発表等への参加
- ・教育研究会活動事業の実施
- ・教育実践論文による実践の整理の促進
- ・研究指定実践校の指定
- ・指定研修、希望研修の開催
- ・ALT・JTEの園・小・中学校への配置と研修実施
- ・教職員特任指導講師の配置、リーダー教職員養成研修の実施

A
A
A
A
A
A
A
A

目標2 園・学校・家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進

- ・学校関係者評価結果の学校(園)経営への反映
- ・自然や文化等に精通する人材の発掘・把握
- ・ふるさと学習事業、特色ある教育活動推進事業

評価
A
A
A

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実

- ・生きる力を育てる教育活動事業
- ・生きる力を育てる教育活動事業、進路指導対策事業

評価
A
A

施策② 地域ぐるみによる子ども支援

- ・1家庭1ボランティアの啓発活動
- ・MSK・MSJ活動の推進
- ・地域行事への積極的な参画促進
- ・各種表彰、コンクールへの積極的な参加の促進

評価
A
A
A
A

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

施策① 子どもの安全・安心の確保

- ・通学路の点検
- ・子ども110番の家支援
- ・見守り隊の活動
- ・すぐメールの活用
- ・児童生徒に対する安全・安心な食材の選定及び使用
- ・食物アレルギーへの取り組み
- ・学校給食センター運営委員会の開催
- ・学校給食アドバイザーの配置

評価
A
B
A
A
A
A
A
A

- ・管理栄養士（幼稚園担当）の配置
- ・実効性のある命を守る訓練
- ・ネットトラブルチェックシートの活用及び情報モラル指導の充実

A
A
A

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

重点(1) 未来を築く人づくり

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

- ・ジュニアリーダー活動支援
- ・青年団活動支援（地域づくり）
- ・子ども会支援活動
- ・連合PTA支援
- ・ふれあいサマーフェスタ
- ・成人式開催
- ・乳幼児期家庭教育学級（0～3歳児対象）
- ・家庭教育学級（委託開催）
- ・市青少年育成市民会議総会
- ・少年の主張大会
- ・青少年育成推進委員会
- ・青少年主体の活動支援
- ・ほほえみジュニア文化祭
- ・地域独自事業（ふれあい会議）
- ・家庭の日作品募集事業
- ・朝食レシピコンテスト事業
- ・あったかい言葉かけ運動事業
- ・青少年国際交流事業
- ・青少年海外派遣事業

評価

A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
B
B

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

- ・公民館講座・教室ガイド
- ・公民館・分館活動の支援等
- ・数学のまちづくり事業
- ・数楽校運営事業
- ・子どもの読書活動推進関連事業
- ・公民館設備管理事業
- ・生涯学習推進事業、学習機会の提供、図書購入等
- ・青少年平和教育研修事業
- ・地域コミュニティ支援事業

評価

A
A
A
A
A
A
A
A
A

・放課後チャレンジクラブ支援事業	A
・もとすボランティア４４	B
・赤彩古墳の館開館事業、民俗資料館活用事業、古文書ボランティア、 船来山古墳群ボランティア、美術展ボランティア	A
・読み聞かせサポーター養成	A
・安心・安全見守り事業	A
・人権教育推進事業	A
・人権教育リーフレット「心の輪」作成・配付、各校・園の活動及び取組等の紹介	A
・人権に関する標語の募集（中学校２年生対象）	A
・第二次子どもの読書活動推進計画の推進	A

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

	評価
・体育協会事業の支援と推進	A
・市大会及び種目別大会	A
・地区及び県大会選手派遣	A
・本巣・北方・瑞穂駅伝	A
・清流駅伝	A
・スポーツ少年団活動の支援と推進	A
・各単位団の活動支援	A
・全体事業の活動支援	A
・広域活動の支援	A
・各団体の活動支援及び各事業の展開	A
・ソフトバレーボール大会	A
・カローリング大会	A
・早春淡墨桜浪漫ウォーク	A
・もとす遊RUN（ジョギング大会）	A
・軽スポーツカーニバル	A
・FC岐阜支援	A
・自治会及び子ども会の活動支援	A
・周知及び窓口支援	A
・スポーツ推進委員会の育成	A
・月例会の開催	A
・事業支援	A
・スポーツ推進委員の計画的・継続的な研修の実施	A
・研修会の実施	A
・研修機会の提供	A
・育成研修会の実施	A
・情報の収集及び発信	A
・全市的な事業展開	A
・各種講座の実施	A
・体育施設の維持管理	A

- ・本巢市民スポーツプラザ整備事業

A

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

評価

- ・文化協会等の支援
- ・文化ホール自主事業の充実
- ・文化財保存活動事業（伝統芸能の育成・支援）
- ・主要設備改修計画の策定
- ・文化財保護審議会の開催と文化財保護事業の実施
- ・市内発掘調査の実施
- ・船来山古墳群詳細遺跡分布調査
- ・文化財保存団体支援・記録保存
- ・高木貞治博士顕彰事業
- ・文化財環境整備
- ・歴史探訪セミナー・赤彩古墳の開館・企画展・親子歴史体験教室【ふるさと学習浪漫プロジェクト事業】
- ・美術展等の開催

A

A

A

A

A

A

A

A

A

A

A

A

A

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

重点(1) 子どもの居場所づくり

施策① 安心して学べる学校の創造

評価

- ・教育相談員研修の実施
- ・生徒指導対策事業の実施
- ・学級満足度調査の実施
- ・生徒指導等事例検討会の実施
- ・本巢市いじめ防止対策に関する条例の周知とそれに基づいた取組の実施
- ・いじめ問題対策連絡協議会の実施
- ・遊具及び体育施設点検の実施
- ・心肺蘇生法実習事業

A

A

A

A

A

A

A

A

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

評価

- ・児童の実態に合わせた支援員（学習・生活）の配置
- ・ライブ中継システムを活用した合同授業の実施
- ・相談員の配置
- ・小学校非常勤教育講師配置事業の実施
- ・中学校非常勤教育講師配置事業の実施
- ・外国籍の児童生徒及び保護者の支援

A

B

A

A

A

A

施策③ 特別支援教育体制の充実

- ・ 支援員研修会の実施
- ・ 特別支援教育連絡協議会及び特別支援教育連携協議会の開催
- ・ 支援チームの計画的巡回訪問の実施
- ・ 特別支援コーディネーター研修、中学校区毎の教育支援委員会の開催

評価

A
A
A
A

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

- ・ 小学校小規模改修事業
- ・ 中学校小規模改修事業
- ・ 中学校大規模改修事業
- ・ 小学校管理備品購入事業
- ・ 小学校教材整備事業
- ・ 中学校管理備品購入事業
- ・ 中学校教材整備事業
- ・ 給食センター設備修繕・購入事業

評価

A
A
A
A
A
A
A
A

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

- ・ 根尾、外山地域活性化検討会議の開催
- ・ 放課後児童健全育成事業の実施
- ・ 学力向上サポート事業説明(学力向上サポートの体制づくり)
- ・ 学力向上サポート事業
- ・ 放課後チャレンジクラブの実施
- ・ 多子世帯学校給食費補助事業
- ・ コンビニエンスストアでの収納事務

評価

A
A
A
A
A
A
A

V. 評価委員会からのご意見

教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について、点検評価委員会において委員からのご意見を集約したので報告します。

1. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の活動状況

① 教育委員会の開催

・意見交流及び参考資料の具体化を今後も一層進めていただきたいです。

② 総合教育会議の開催

・本巢市型コミュニティ・スクール2年目として、地域の人材や施設の支援を受け、進みだしている。地域差、学校差があるので、教育委員会の担当のコントロールや助言を強めることも必要かと考える。

・市民レベルへの浸透が一層重要に思います。

③ 点検・評価委員会

・多岐にわたっていますが、具体的実践で高め合いたいものです。

(2) 調査活動の状況

① 学校訪問

・現場教師は具体的な助言指導を一層求めているものと思います。是非、具体的な助言指導をお願いします。

② 先進地視察

・本巢市としての先進化の方途は何かを一層明確に示していただきたいです。

2. 事務事業の執行状況について

目標 1 知徳体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 確かな学力、学校ICTの活用

- ・「自分の教科指導を観る一つの〔窓〕」は、具体的な観点で示されており、特に若手教員を指導する上で有効である。
- ・各学校において、4月当初から共通理解をしながら、指導に当たっており、訪問や行事等折に触れて見直すことで、徹底がなされている。
- ・基礎学力向上のための支援員の配置について、本市の取り組みは進んでいて、学力向上に大きく寄与している。今後とも充実させたい。
- ・個の特性に応じて、児童生徒によりきめ細やかな指導をしていく上で、学習支援員の存在は大きい。さらなる充実をお願いするとともに、学校現場においてどのように生かすかが重要である。
- ・学習支援員の配置により、教科担任だけでは行き届かない助言・支援ができています。
- ・糸貫中学校では、保護者や生徒の希望による放課後の補充的な学習会を週1回位置付けている。今後、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の中で、公民館での学習支援事業も実施していく計画である。
- ・実態把握が基盤ですので、今後も具体的に進めていただきたいです。
- ・幼小中の連携だけでなく、めざす子どもの姿を家庭・地域も含めて共通理解し、発達段階に応じ

てそれぞれの立場で指導していくことは重要である。

- ・学校関係者評価委員会は学校運営協議会の一機能。この結果を学校運営協議会の目的に沿ってどう活かしていくかなど、学校運営協議会の評価項目を新たに設けて、事務事業の一つとして評価改善を加えていきたい。
- ・糸貫地域のコミュニティ・スクールでは、昨年度の実態把握から「家庭教育力の向上」に視点を当てることとして進めている。一層の幼小中の連携と啓発方法の工夫が必要であり、公民館・民生委員・自治会等との連携強化が必要となり、そのための人的、時間的環境の保証や充実が求められる。
- ・学校運営協議会への幼稚園の参加はとても良いことだと思いますので、これを機会に幼小の連携をもっと推進して頂きたいと思います。
- ・今後の成果に期待ですが、”何がどうなりたいのか（何をどうさせたいのか）”を一層明確になるように進めていただきたいです。
- ・電子黒板の各学校への配備は完了した。積極的な政策で、児童の学力向上に寄与することは大きいと思う。機械は故障がつきもの、またソフトの回転も速い。したがって、今後は、修繕整備費、ソフト購入費などしっかりと予算をつけてもらいたい。宝の持ち腐れにはいけない。
- ・電子黒板の設置は、子どもたちの興味・関心を高め、分かりやすい授業づくりに大変役立っている。
- ・配備されている学校もありますが、タブレットを通常学級だけでなく、特別支援学級にも配備していただけるとありがたい。
- ・教育センターで連絡調整や助言・指導をしていただき、より現場の実態に即した整備がなされている。
- ・情報機器の整備について、子どもたちの反応を的確にとらえ、何を具体化することが大切ではないでしょうか。
- ・学校間ネットワーク整備事業について、より時代に合った学習活動ができる環境整備へと進んでいると信じております。
- ・デジタル教科書は使いこなしてこそ大きな教育効果が得られる。先生方一人ひとりの意欲とそれに応える機器活用研修会など併せて求められる。
- ・デジタル教科書によって、児童により分かりやすく説明することができている。
- ・デジタル教科書を他教科においても導入していただけるとありがたい。たとえば、音楽では「鍵盤ハーモニカ」の指導において、「指くぐり」の映像を繰り返し見せることによって定着が図れたり、きれいな音色とそうでない音色を聴き比べたりすることに有効であることなどが考えられる。
- ・中学校指導用教材整備事業について、現場の実態と要望を配慮していただいていることに感謝している。活用能力の低い教員への徹底的な指導と深い学びにつながる活用の手順や例を示していただきたい。
- ・各学校のホームページに「学校運営協議会」の項目を設け、学校運営協議会の活動状況等の情報提供、協力依頼事項など、常に発信していくようにしてほしい。
- ・各学校ホームページの活用について、家庭・地域への情報発信として、今後も活用していきたい。
- ・各学校のホームページを必要な更新を行いながら、開かれた学校への努力をしている。
- ・ある小中学校のホームページでは、今年のデータのまま更新されていないケースがあった。
- ・ライブ中継システムについて、文部科学省指定終了後も市予算で事業の継続を図るという姿勢、本市の「やる気」を感じる。一番活用したいのは、根尾地区・外山地区の子どもたちの限定的な環境をこのシステムで大きく広げてやること。そのほかにも、コミュニティ・スクール化したこ

とで活用できるケースも多いと思う。効果的な活用法を更に検討したい。

- ・「話す、聞く、考える」といった社会性や基礎的資質の育成は大切ですが、「システム」はあくまでも手段（道具）ですので、子どもの思考や実態がどう変わっているのかを捉え、学校（園）へ啓発していくことが大切だと思います。
- ・校務支援システム導入は、業務の効率化を図るうえで大変有効である。その機能を十分活用できるようにするためには、さらに教職員の研修が必要となってくる。
- ・校務支援システムの導入により、校内はもとより、市内での記述方法や内容が一層スマートになった。
- ・校務支援システム運用のため、教務主任や教頭等一部の職員に過重な負担がかかることを解消したい。
- ・校務支援システム導入は、情報の一元化により、成績のデータ管理もより安全、効率化が図られてきた。
- ・情報の一元化は大変素晴らしいと思いますが、そのために職員のパソコンに向かう時間が多くなり、児童生徒等との触れ合う時間が減少化していないだろうか。
- ・校務の適正化、効率化について、今後とも助言・指導をよろしくお願いします。
- ・子どもたちがALTの本物の英語に触れることは、慣れ親しむだけでなく、聞き取る能力を高めることにつながっている。より多く触れ合う機会を設けたい。
- ・幼稚園の早い時期から子どもに英語を慣れさせて、聞かせていくことは効果的である。

施策② 心と体のすこやかな発達

- ・道徳教育の推進について、糸貫中学校では文部科学省と岐阜県教育委員会の指定を受け、積極的に研修を行い授業等に反映できている。この成果を市内の各学校に発信、共有していきたい。
- ・道徳教育について、心と言動は一体的であると言われます。家庭、地域の指導力を高める連携を一層進めていただきたいです。
- ・道徳教育の実践校を中核に、市内各園校への実践をよろしくお願ひしたいです。糸貫中学校の発表会（公開）に感動しました。中学生の本物の心を実感しました。
- ・予算を頂きながら、生徒の実態や要望を考慮しながら図書室の蔵書の充実を図っている。図書整理員の司書的活動により、読書啓発が図られている。今後、こども図書司書の活動も含め、読書活動推進に向け活動の工夫を行いたい。
- ・学校図書電算化システムの整備により、貸出冊数の集計が容易であり、読書への意欲化にもつながっている。
- ・地産地消事業に伴い、野菜の生産者の方に来校していただき、4年生の児童を対象に給食の時間にお話をいただいた。生産者の方の苦勞を知るとともに、ふるさとへの思いを高めることができた。
- ・栄養教諭をはじめ、給食センターにおいて、積極的に地産地消の事業を進めている。給食中にも放送でPRがなされている。
- ・地産地消事業について、JAなどと協力して、生産者が小中学校に来て、食材についての思いを語ることで、より児童生徒への啓発が進んでいる。
- ・体力・運動能力テストの実施について、具体的な指導をいただき、改善に役立っている。
- ・体力・運動能力テストの実施について、一人職も含めたチーム学校としての機能の充実を図りたい。
- ・体力・運動能力テストの実施について、具体的な対応を保護者（地域）に示してこそ、向上すると思います。

- ・部活動支援事業の支援に大変感謝している。
- ・スポーツ庁指定「子どもの運動習慣アップ支援事業」への取り組み、アイデアが優れていて成果も大、小学生になってもその成果が見られるなど、全国に広げたい取り組みだと誇れる。
- ・幼稚園における運動遊びの実践が、小学校入学後の欠席者の少なさや徒歩で通学できることにつながっていると感じる。
- ・生きる力を育むプロジェクトにより、幼児期から運動に興味を持ち親しむ力をつけることは継続したい。

施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援

- ・児童会活動・生徒会活動の交流を通して、視野を広めるとともに、他校のよさを学ぶことができる。
- ・児童会・生徒会活動サミットの実施により、伝えたいことを伝えるための表現力・話す力を高めることができる。
- ・生徒会のリーダーが市長と対談・会話する中で、実践や願いをもとにしっかりと考えを主張することができていた。将来の本巢や日本を導く人材育成ができています。
- ・実際に、児童会活動・生徒会活動を参観することで、自分たちの活動を振り返ることが何より大切かと思えます。子ども自身が主人公意識を持つかが原点だと思います。子どもの意識改革では。
- ・根尾小・根尾中学校から弾正小・真正中学校まで、清流・根尾川とその派川（用水）で結ばれていて、根尾川水系を対象としたE S D教育を推進していくことは、ふるさとへの愛着を育むだけでなく、環境の持続的な発展に貢献する児童生徒を育てることになる。ぜひ今後とも活動を深めていってほしい。
- ・根尾川水系愛掃活動が定着してきている。今後、原点に戻り、活動の意義や目的についての共通理解も必要ではないか。
- ・根尾川水系愛掃活動に対する地域住民の評価も高いので、一層活動を充実させていきたい。

施策⑤ 教職員の研修の充実

- ・「スリム化」の文言に関連するが、現在大きな課題となっている「働き方改革」についても、各学校の取り組みなど、またその取り組みに対する助言等がなされているのか、もしそうであれば、そのことも事務事業の成果としてここで（または他にふさわしい場で）取り上げたい。
- ・事務管理訪問の資料のスリム化が、「働き方改革」につながっている。
- ・事務管理訪問について、学校の方向や実態を見据え、教育活動の見直しがなされる良い機会となっている。「スリム化」については、十分な成果が出せなかったことが今後への課題である。
- ・事務管理訪問では、具体的な指導をいただき、改善に役立っている。
- ・栄養教諭や事務職員等の一人職も含めたチーム学校としての機能の充実を図りたい。
- ・自然災害への対応等、市全体として方向を示していただき、保護者・地域への対応を迅速に行うことができた。
- ・危機管理については、想定されること、さらにそれ以上の状況についても管理職のみならず、全職員が意識できるよう意識付けができた。
- ・「市外他校の研究発表等への参加」について、力量こそ指導の原点ですので、今後も啓発していただくようよろしくお願いします。
- ・教育研究会について、少人数教科部会の研究会の在り方など工夫の必要はある。
- ・教育研究会について、他都市との交流が今後にも必要ではないでしょうか。これは、自信創り、啓

発化に直結すると思います。

- ・教育実践論文の作成を進める中で、教育観や教科の本質などを見つめるよい機会となっている。
- ・研究指定実践校の指定は、研修のよい機会となっている。
- ・英語学習指導員の配置により、学級担任がより安心して英語を使って指導することができるようになった。担任との打ち合わせの時間を確保することに課題がある。
- ・高学年児童の80%、中学年児童の83%が「英語がすき」と答えていることについて、教師の姿勢の表出が何より大切に思います。一層の啓発をお願いしたいです。
- ・若手教職員に対して、特任指導講師の学校訪問による授業参観や事後指導は、指導力向上において大変ありがたい。子どもと向き合う時間の確保にもつながっている。
- ・理科専門指導員の配置により、理科における実験準備や後片付け等、担任の負担軽減につながっており、今後も継続していただきたい。

目標2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進

- ・「学校関係者評価委員会」は「学校運営協議会」の事業の一部であることを明確にし、学校関係者評価委員会のPDCAサイクルの成果を学校運営協議会の目指す児童生徒の姿に反映させていくようにしたい。
- ・学校運営協議会により、保護者、地域とともに、中学校区において幼小中が一貫した指導を進めていくことは、子どもの健やかな成長の上でとても重要である。
- ・コミュニティ・スクールを立ち上げ、地域の学校を目指す土壌ができた。
- ・コミュニティ・スクールを中学校区毎にして、幼小中の連携を大切にしていきたいことは大変よいことだと思います。学校・家庭・地域が何をどのように協働していくことができるのか期待したい。
- ・学校運営協議会には、幅広い人材・職域の活用が必要に思います。
- ・各学校運営協議会に組織された「外部人材の活用」部門の充実は、各学校が組織してきたリストの活用のほか、社会教育課の学力向上ボランティア事業の効果的な活用もその一つとして挙げられる。
- ・糸貫中学校ではコミュニティ・スクールの一環として、自動車学校での安全教室を立ち上げることができた。
- ・「ふるさと学習」では、生徒の一部にはなるが、こども学芸員として、船来山の古墳について説明できる生徒も出てきた。
- ・「ふるさと学習」において、「本巣市はどんなところですか」と聞かれたとき、少しでも多く特色が語れる力を養いたい。
- ・「ふるさと学習」では、地域から学校に入りやすく、本当に地域を守る事を、子供たちに教えて頂いている。学校、PTA、地域と連携を取り、ふる里を大切に守りたいです。

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実

- ・地域の方と触れ合う活動を通して、コミュニケーション能力を高めるだけでなく、相手を思いやる心やふるさとへの愛着をもつことができるようになっている。

- ・地域で働く人や事業主と語る会を設けたり、職場体験学習を進めたりする中で、生きることや職業観、勤労観について学ぶことができた。
- ・進路指導対策事業等では、自分の適正や夢を語れることがどの程度できているのか。

施策② 地域ぐるみによる子ども支援

- ・学校の自慢となるよう、児童会委員会活動を中心として、挨拶運動に積極的に取り組んでいる。
- ・MS Jの活動として、ボランティアへの意識の高揚を図ることができた。
- ・地域行事への積極的な参画促進について、地域の一員であることや、地域のみなさんに支えられて生きていることを自覚することにつながっている。
- ・クリーン活動への意識が弱く、今後、自治会長との連携や部活動の開始時刻などの調整を図ることが必要である。
- ・実践中の地域行事で重要な位置にあります。こうした場でこそ、子どもたちの意識高揚変革の好機かと思えます。是非、具体的な場面で、評価の価値付けをお願いします。

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

施策① 子どもの安全・安心の確保

- ・通学路の点検では、子どもたちを守るために、自治会長さんを中心として地域全体で積極的に関わっていただき大変ありがたい。
- ・すべての通学路改善要望に対して、関係機関と連携を図りながら、対策を講じていただいている。
- ・糸貫地区では、環状線の工事等に絡む通学路変更が常態化している。行政、工事主体者、地域（自治会長）等との密な連携が求められる。
- ・通学路の点検について、真桑小学校北門出入り口の2か所に安全な通行のためのミラー設置等の要望がなされているが、未だ対策がなされていない。
- ・子どもの安全を確保することによりしくをお願いします。マナーは子どもも必要ですが、大人の姿勢次第でもあります。一例を挙げれば、子どもの通学路上に自家用車を毎日駐車し、歩行の妨げにするなども気になりました。
- ・自治会のみなさんのご協力により、学校から自宅まで途切れることがないように、「子ども110番の家」が登録されていることがとてもありがたい。
- ・子どもたちの110番の家への認識、現行化等、引き続ききめ細やかな支援をお願いします。
- ・子ども110番の家の成果と課題が具体的に分かり難いように思う。交流会や実践例を紹介し合い、高め合うのもよいのではないかと思う。
- ・子どもたちは、子ども110番の家の方がどなたか分からない。紹介することで、家への敷居が低くなる。子ども会活動で紹介すると良いと思う。
- ・通学路上でのトイレ問題がある。子どもたちはトイレを探しているので、110番の家での対応を知らせてほしい。
- ・すぐメール（緊急メール）送信システムについて、緊急時の対応等、保護者に対して迅速に対応することができ、とてもありがたい。
- ・すぐメールは、必要に応じた発信ができています。
- ・学校給食では、安全・安心だけでなく、愛情をこめてよりおいしい給食を提供していただいていることが大変ありがたい。
- ・学校給食について、努力と工夫がなされている。
- ・食物アレルギーへの取り組みについて、卵の除去で円滑に実施できた。今後、その他のアレルギー

一食材についての広がり期待したい。

- ・食物アレルギーで牛乳が飲めない児童生徒の給食費の軽減について、今後ともよろしくお願ひしたい。こうした配慮を価値つける場を設定したい。
- ・「しあわせ」とつぶやきながら給食を食べている子どもがいた。本当にありがたいことです。
- ・学校給食アドバイザーの配置について、とても素晴らしい。もっと、学校や園、保護者へのPRも必要か。
- ・地産地消・食育を推進し、きめ細やかで魅力ある学校給食の実施について、とても大切ですので、よろしくお願ひします。
- ・関係者の御苦勞により、心のこもった給食を本巢市の子どもたちがいただいているとお聞きし、きめ細やかな心配りに感謝します。
- ・実効性のある命を守る訓練の実施について、いじめられる側になったときに、自殺以外に回避するための力を育みたい。
- ・ネットトラブルチェックシートの活用及び情報モラル指導の充実について、誰にでも起こりうるという危機意識を誰もがもち、個に応じて本人、保護者に働きかけていかなければならない。
- ・ネットトラブルについて、集会、授業、講演会などあらゆる機会を通して指導の強化を図っている。
- ・インターネットについては、保護者の責任についても啓発していきたい。
- ・インターネット3ない運動を進めているが、例えば家庭での取り組みなどを報告してほしい。

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

重点(1) 未来を築く人づくり

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

- ・校長会等において、ジュニアリーダーの活動報告や実態を具体的に知らせることは、実践化への方途として大切に思います。
- ・いつも連合PTAの会議は、事業の報告で終わる。できれば、地域の交流をして欲しい。
- ・成人式で配布したボランティア手帳の更なる充実を図ってほしい。
- ・家庭教育の充実がとても求められていると感じる。コミュニティ・スクールを生かしながら、地域の活動に子どもが参加し、保護者の交流を深めることから進めていきたい。
- ・ほほえみジュニア文化祭において、中学校吹奏楽の活躍の場を頂き感謝している。
- ・地域づくり事業では、中学生がリーダーとなって活躍し、地域の方とのふれあいや保護者同士の交流だけでなく、ふるさとへの愛着にもつながっている。
- ・青少年国際交流事業について、経費面での課題はあるかと思いますが、相互負担をさらに増額して、息の長い事業として継続していきたい。
- ・中国への青少年海外派遣の参加希望者が少なく、申し訳なく思います。
- ・青少年海外派遣事業について、市民にも周知できるように、市民会議総会等で報告する機会が欲しい。

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

- ・公民館講座・教室の内容は、マンネリ化ではないか。

- ・算数ウォークラリーも算数・数学検定楽校のいずれも、高木貞治博士を顕彰する上できわめて意義のある事業であり、算数・数学の学力の向上を目指す上での特色ある事業だと思う。本市のイメージアップにも大いに寄与していると思う。ただ、参加者が高木貞治博士について関心と理解がどの程度あるのか。理解が深ければ深いほど、参加者の意識も違ってくる。参加者に、一昨年完成した「高木貞治博士記念室」を活用することもぜひ考えていただきたい。
- ・生涯学習推進事業について、公民館で美術部の作品展示をさせていただく機会を頂き感謝です。
- ・青少年平和教育研修事業は、希望者による最後の派遣事業であったが、流石に希望者だけあって、学ぶ意識や積極性があり引率していて頼もしかった。今年度の2年生全員参加につながる良い事業であった。
- ・青少年平和教育研修事業へ参加した生徒の発表（報告）を聴き感動しています。経費面の課題はありまじょうが、是非継続していただきたい。
- ・地域支援コーディネーターの方を中心に、学力向上サポーター登録者リストも充実し、学校現場でさまざまな形で活用されている。昨年度発足した中学校区単位のコミュニティ・スクールとリンクして効果的な活用を図っていったら如何だろうか。
- ・子どもたちは楽しんで、放課後チャレンジクラブの活動に参加しています。
- ・放課後チャレンジクラブをCCNet利用などの広報活動にて、サポーターの呼びかけをしてほしい。
- ・放課後チャレンジクラブを学校の規模に関係なく開催していただき、ありがたいです。それぞれの活動内容に、子どもたちの楽しそうな姿が印象的です。
- ・阪神淡路大震災時に発足した事業で、現在のボランティア44の形も大きく変わってきています。ボランティアの趣旨をもう一度見直し、全市でボランティアの日の設定が出来れば理想です。
- ・もとすボランティア44について、今後どうしていくのかを考えてほしい。
- ・古文書ボランティアについては、活動拠点である本巢民俗資料館の施設が貧弱で、ボランティアの方たちは狭い中で、またパソコン等の機器や読解のための辞書や町村史等も不十分な中で活動しておられる。将来、本巢市史等を編纂する場合に欠かせない活動でもあり、市としても配慮してあげたい。
- ・船来山関連については、地元糸貫中や席田小学校の生徒児童の意識をさらに高めたい。
- ・本巢民俗資料館は見やすいが、真正と糸貫の民俗資料館は十分でない、活用がない。市として、核となる資料館になるとよい。
- ・安心・安全見守り事業について、登校時の見守りは大変ありがたいです。なかなか難しいですが、下校時の見守りの方が増えるとありがたいです。
- ・地域のおじさん、おばさんには、本当に感謝です。毎日の事、子どもたちの”ありがとう”の一言で繋がる信頼、これからも宜しくお願いします。
- ・安心・安全見守り事業について、大人の立場で関わっているとき、大人の姿勢が子どもの意欲に大きく変わることを実感した。当たり前の姿勢として実践できたらと実感する。

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

- ・体育協会事業の育成費は、加盟団体の活動、活性化に繋がる大切な支援。効果的な使用により各団体のより一層の活躍を期待し、引き続き、適正運用指導をお願いします。ウォーキングのまちとして、協会の中にも関連団体ができ、市の行事にボランティアとして参加し、相互応援体制が充実できることが、理想です。
- ・市大会及び種目別大会について、本巢市からの補助を有効活用し、大会等が盛大に開催できた。広報、CCNetを利用して魅力ある内容の活動報告を期待したいです。

- ・地区及び県大会選手派遣について、経費支援等大変感謝しています。それぞれの選手の活躍の様子を、広報紙に掲載していただき、市民全体に元気をいただいている結果につながっています。多くの選手が育ってくれるよう応援しています。
- ・本巢・北方・瑞穂駅伝について、3市町が交流し、情報交換も大切なこと。特に中学生チームなどは家族の応援も多く、駅伝から学ぶことは沢山あると思います。歴史を刻むことは、時代の変化により大変なことだと思いますが、引き続き、盛大に開催されるよう応援します。
- ・清流駅伝について、本巢アスリートクラブを中心に取り組み、選手の選抜も、多方面からご苦労様です。年間を通して、継続的に練習が出来る環境が整うと最高だと思いますが、毎年参加が出来ることは素晴らしいことです。ランニングブームの中で、人材発掘の情報等も、クラブの強化がポイント。活発な活動が出来るようお力添えをお願いします。
- ・スポーツ少年団活動の支援と推進について、少子化により、チームとして活動も難しい団もある中、スポーツの楽しさ、仲間づくり等、子どもの目線での指導が必要かと考えます。
”好きこそものの、上手なり”。まず、楽しむ事のできる良い指導者が一人でも多く育成されるように、引き続き温かい支援をお願いします。
- ・各単位スポーツ少年団の活動支援について、施設の安全対策、健康面等、各単位団と連携情報交換が良くできているようです。団員募集のPR動画が楽しそうで、団員の自覚が伝わってきます。
- ・交流会は、市全体のスポーツ少年団の団員が一堂に集まり、相互交流が出来る、良い企画だと思います。団員も指導者もさらなる団結が起き、絆が深まり、少年団として、練習試合だけでなく、楽しさを学んでほしいです。
- ・広域活動の支援について、3市町スポーツ少年団リーダー養成研修会は、一人の人間の成長過程において、あの時、参加してよかったと、思い出に残る研修となることを期待します。押し付けではなく、ペップトーク方式なども参考に、前向きな背中の一押し、トークによる魔法も楽しいと思います。
- ・各団体の活動支援について、健康寿命を延ばす、日頃から体を動かす習慣を作る為にも、参加呼びかけPRの方法も、一工夫ほしいです。
- ・ソフトバレーボール大会について、合併後、真正地域をメインに開催し、当初の目的は達成できたと思われる。参加チームが減少気味である。協会、連盟に移行し、改革を試みる時期かなと思う。ニュースポーツの検討をしてみてもどうか。
- ・カローリング大会について、うすずみルールにて最後の大会。NHKからも取材を受けて放映し、カローリングの楽しさを知ってもらうことが出来た。正式ルールに移行後も、盛大に大会開催に取り組みたい。
- ・早春淡墨桜浪漫ウオークはネーミングもよく、市内外の参加者を多く集め、毎年大きな成果を上げていて、本市のイメージアップに大きく寄与している。今後とも力を入れて取り組みたい。
- ・淡墨桜浪漫ウオークに、糸貫中学校では約1/3の生徒の参加ができた。歩かないが、モレラ岐阜で出発や受付への誘導のためのボランティアを行う生徒もいた。
- ・淡墨桜浪漫ウオークは全国規模の大会となり、参加者も非常に多くなってきている。企画から運営を、限られたスタッフで大した事故もなく開催出来る事は大変ありがたい。ウオーキングのまちづくりを推奨するためにも、地域ボランティアの参加も必要かと思われる。ややスタッフの過密スケジュールが心配で、60kmの間の車の移動など、十分注意をしてほしい。多くのボランティアで盛り上げられる大会が理想だと思います。
- ・もとす遊RUNについて、根尾地域での10月開催は、天候の心配がなく良いと思います。アップダウンが激しいコースであるため、誰もが参加するというのが難しい面もあるが、市内の多くの小学生、中学生の参加を期待します。

- ・軽スポーツカーニバルについて、小さい子ども連れのファミリーの参加が多く、種目も手ごろな軽スポーツを選択している。市レクリエーション協会と連携を取り、軽スポーツの楽しさ、普及、笑顔が生まれる提供者として、楽しく運営している。
- ・F C岐阜支援について、プロ集団のプレーを身近に観て、子どもたちの夢が広がるよう市を挙げて応援し、F C岐阜にも頑張ってもらいたいです。市のサッカー少年の観戦状況、ホームタウンデーの応援状況、支援の輪がもっともっと広がるように盛り上げてください。
- ・自治会及び子ども会の活動支援について、皆さんからの要請には、スポーツ推進委員も積極的に支援指導し、広く軽スポーツの楽しさのPR活動にも力を入れています。
- ・各種大会の周知方法が偏らないよう、全市内回覧にも配慮され、参加を促していただきありがとうございます。
- ・スポーツ推進委員会について、非常勤の公務員としての自覚、スポーツ基本計画にのっとり、スポーツ推進員委員各自が自己研鑽に務め、資質向上に努めている。スポーツクラブとも連携を取り生涯スポーツ振興に取り組む。定数欠員の為、スポーツ推進委員として、理解がある人材発掘を期待する。
- ・年間を通し、月例会においてスポーツ推進委員相互の連携を密にし、それぞれの諸行事に対し、市民の皆さんにいかにも良い提供が出来るか、又各自の研鑽の場でもあり、今後も活発に活動したいです。
- ・ソフトバレーボール大会などは、合併後続いているイベントであり、市民のニーズに合わせて、改善することも必要である。多くの参加者の健康増進に役立っている。
- ・全国研究協議会、東海四県スポーツ推進委員研究大会、岐阜地区研修会等へ参加は、スポーツ推進員委員の資質向上には欠かせない研修であり、得るものは大きい。他府県、他市町から学び、各自が理解をし自己研鑽の場となっている。
- ・カローリングのオリジナルルール（うすずみルール）は幅広い年齢層で楽しめ、浸透もしてきているので、正式ルールに取り組む。スポーツ推進委員会の定例会を利用して、実技研修を重ね、カローリング教室の充実を図っている。
- ・各種スポーツ団体の横の繋がりをもち、優秀な指導者の育成、発掘し、地域貢献を期待します。
- ・各種スポーツ団体の指導者不足は、大きな問題。ボランティアであり、昨今の社会情勢の中、研修参加の指導者に益々の活躍をお願いしたい。
- ・情報の収集及び発信について、引き続き、多方面に情報発信し市民の方々に関心を持って頂きたい。
- ・市の施設を利用し、身近に気軽に参加できるスポーツクラブとして、全地域に広がることを期待します。他地域に出張講座として出かけ、会員募集も行い、クラブ発展のため、PR活動にもアイデアが生まれるよう期待します。
- ・スポーツの各種講座の実施について、大変よいことだと思います。今後も幅広く進めて頂きたい。
- ・スポーツの各種講座の趣向をこらし開催されている。せっかくの機会をもっと多くの市民に参加して頂きたい。民間クラブも参考にしながら、公的クラブの良さを前面に、活発な活動を応援したいです。
- ・どの体育施設も老朽化が進み、改修、修繕が重なってきます。計画的に長いスパンで改修なのか、新しく次世代に合う体育施設の充実なのか、そんな夢もスタートしてほしいです。
- ・本巢市民スポーツプラザを皆さんが安全安心して、楽しんで頂くために、多くの御苦勞に感謝します。事故が起きてからでは取り返しがつきません。引き続きの取り組みをお願いします。特に衛生面での配慮が大切な施設です。宜しくをお願いします。

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

- ・文化ホール自主事業について、糸貫中学校吹奏楽部の発表の場の提供に感謝します。
- ・市内発掘調査について、その都度の対応が的確になされ良い。曖昧になると、個人所有（拾得物）となったり、放置（廃棄）されたりして、地域住民が困惑することがあったと聞く。
- ・船来山古墳群検討委員会の活動も大きな事業であると思うが、この項目には現地調査を行ったことの記述があるのみ。将来の市の目玉ともなる史跡公園化を考えると、検討委員会の活動についても、項目を設けて記述していく必要があるのでは。
- ・高木貞治博士記念室について、入館者が3, 130人とあるが、糸貫支所時代や前年度の入館者と比較してどうなのか記載があると良い。
- ・記念室について、市内の子どもたちに対しての啓発をさらに進め、積極的に活用できるようにしていきたい。
- ・記念室について、県外はもとより国外からの来館者対応ができるガイドが欲しい。日本語での表記ばかりで、外国人にも分かるようにしてほしい。
- ・記念室の開室は大変好評のようです。児童生徒の活用のためにマンネリ化しないことが必要かと思えます。
- ・記念室について、更に市民レベルへの啓発をお願いしたい。
- ・船来山古墳群でボランティア清掃活動について、一層、地域への啓発を図りたい。そのためにも、地域住民を巻き込んだ活動（清掃、草刈）に高めたい。本巢や国の財産としての意識高めが、さらに推進されると良い。
- ・学芸員の教育普及活動、こども学芸員の誕生等、本当によく活動していると思う。船来山古墳群という本市の「宝」を、さまざまな角度から市民に還元していく活動は大きく評価されると思う。
- ・社会科の歴史学習において、講師として指導していただけるだけでなく、学校から現地までの移動も手配していただき大変ありがたい。「赤彩古墳」はぜひ生で見させたい。

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

重点(1) 子どもの居場所づくり

施策① 安心して学べる学校の創造

- ・教育相談員研修は、意識を高め、理解を深める大事な研修となりました。
- ・いじめ対策に今までも万全の対策をとりながらも、いじめ自殺のような事件が後を絶たない。何が問題なのか、理解したつもり、共有し合ったつもりなのにエアポケットがあったというのが、今回の岐阜市の事例かもしれない。一度話し合ったから、または手を打ったからではなく、何度でも、くどいくらい、こうした問題については取り上げていくべきだと思う。
- ・生徒指導対策事業の実施により、いじめに対する認識を確認し、丁寧な指導へと進めることができた。
- ・校内のいじめに関する情報と対応を共有化していることは大事だと思います。
- ・学級満足度調査の実施について、よりよい学級集団づくりや個への指導に役立てることができ、継続して実施していただきたい。
- ・学級満足度調査の実施について、今後もよろしくお願いします。
- ・「本巢市いじめ防止対策に関する条例」の周知とそれに基づいた取組の実施について、本質（要

因・意識)を的確に把握することが、まず大切ではないのか。そのための幅広い情報収集方法を工夫していただきたい。

- ・いじめチェックシートは、できれば無記名で回収し、調査してほしい。
- ・遊具や体育施設について、専門家の点検は必要である。今後も丁寧な点検を期待したい。点検者と工事者は同一でない方が好ましい。
- ・簡易型心臓マッサージ練習キットの有効活用を行っている。キットの破損が進んでおり、修理の一括点検を希望する。

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

- ・ライブ中継システムは、今後もできるならば続けたい。小規模校の児童生徒が多様な見方考え方の児童生徒に出会うことは大切だと思う。
- ・本市は、他市以上に手厚く「支援員」等の配置を実現している。さまざまな環境下のもと学んでいる本市の児童生徒の学力向上、心身の成長のために大きく寄与している。今後ともこの点に力を傾注していただきたい。
- ・教育相談員の配置により、いじめの未然防止、早期発見・早期対応だけでなく、不登校の子どもや保護者にも対応にしていきたい。
- ・教育相談員の配置は、大変有効である。今後も継続したい。
- ・学習支援員及び生活支援員が個の特性に応じて対応していただけるおかげで、学級全体が安定して活動に取り組むことができている。
- ・学習支援員の配置により、大変有効であり、今後も継続していきたい。
- ・学習支援員等の配置により、本巢の子どもたちは救われていると思う。けれども、支援員がいることによって、若い先生の力が育たないと思う。
- ・外国籍の児童が安心して学習に取り組めるだけでなく、理解を深めることができている。さらに、個別懇談において、保護者に伝えたいことについて担任の支援をしていただきました。
- ・外国籍の児童生徒及び保護者の支援について、生活等の支援をもっとしてほしい。子ども会での対応ができなかった。周知してほしい。

施策③ 特別支援教育体制の充実

- ・特別支援教育連絡協議会について、幼小中が情報を共有することにより、途切れのない支援を行うことができている。

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

- ・小学校小規模改修事業について、不具合があった時に連絡をすると、すぐに現場を確認していただき、対応方法を検討していただきありがたい。

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

- ・根尾、外山地域活性化検討会議の開催について、根尾学園設立委員会での審議に期待。根尾地区ならではの教育環境を生かして、山間僻地の義務教育学校のあるべき未来型の学校構想をお願いしたい。
- ・地域が学校に、どれだけ児童生徒と自然にふれあいながら支援していけたらいいと思います。
- ・地域連携こそ、開かれた学校であると思います。地域の教育力の活用を今後とも進めていただき

たい。

- 多子世帯学校給食費補助事業について、今後の課題は、保護者への経済的負担の軽減などによる財政負担増でしょうか。自助努力、自己啓発も同時に必要に思います。